

(公社) 日本山岳会栃木支部秋山山行報告書

1. 期 日：令和4年11月5日(土)～6日(日)
2. 山 名：磐梯山及び西吾妻山
3. 行動記録

11月5日(土)磐梯山登山

参加者：増渕仁一、渡邊雄二、斎藤一興、高野正道、菱田克彦、林祐寿、林明子、猿山浩

今回も秋山山行のリーダーは増渕会員。宇都宮集合の参加者は、増渕会員の御親族の土地に駐車させていただき、増渕車で宇都宮 IC を計画どおり 6:30 出発。紅葉狩りで日光方面にはやくも混雑している模様だが、福島方面は快晴の下、快適に走行し白河中央スマート IC で高速を降り、猪苗代湖東岸を通り、裏磐梯高原から磐梯山ゴールドラインで、八方台登山口に 9:00 着。トイレ完備の広い駐車場はほぼ満車状態だが、高野会員と林夫妻は先に到着していた。

軽い打ち合わせ後、登山届を提出して 9:25 出発。駐車場は標高 1194m で 1819m の磐梯山山頂まで標高差は 625m。踏破距離 7.5 km でピストンの一番楽チンなコース。建物が荒れ果てた中ノ湯までは広くなだらかなブナ林の心地よい登山道が続く。中ノ湯の気象観測ポールが立つ丘に登ると磐梯山全景の見晴らしがよい。



中ノ湯跡



磐梯山山頂

標高 1500m 以上になると登山道はブナやダケカンバのトンネルで、発達した透明なエビの尻尾が太陽に照らされて落ちていた。きらきら光りながらお舞い落ちる霧氷と青空のコントラストが奇跡のように美しかった。

11:10 弘法清水の岡部小屋に立ち寄り休憩させていただいた。暖かいお茶のサービスを受けた。小屋の前で滴り落ちる弘法清水の湧き水で淹れたお茶と思うと尚更ありがたい。



霧氷



弘法清水の岡部小屋

12:00 磐梯山山頂。山頂で雲が途切れるのをしばらく待った。時々眼下に輝く猪苗代湖が見えたが、すっきり晴れることはなかった。

磐梯山山頂 ⇒



往路に同じく下山。八方台登山口 14:30 着。林夫妻は日帰りで参加のためここで別れ。

宿に向かう途中、翌日の西吾妻山の登山口偵察のためグランデコに立ち寄った。スキー場のリフト乗り場手前で分岐する吾妻山（小野川）林道からゲレンデ内より山頂駅方面へ向かうスキー場作業道を利用して登山口まで登ることができるとみていたが、スキー場に進入禁止の表示が置かれていたのでロープウェイを使うことに決めた。

宿は JAC 福島支部にご紹介いただいた民宿やまき屋。入浴は 24 時間可能。全国旅行支援割が利用できお得に宿泊できた。

宿のすぐ近くに紅葉の名所、土津（はにつ）神社がある。会津藩主松平氏の祖・保科正之を祀った神社で、会津藩主松平家の墓所もある。真っ赤な紅葉がライトアップもされ大勢の人が訪れていた。

11月6日(日) 西吾妻山登山

参加者：増渕仁一、渡邊雄二、斎藤一興、高野正道、菱田克彦、猿山浩

07:30 宿発。高野車、増渕車を西吾妻山の南麓にあるグランデコスノーリゾートの駐車場（標高 1010m）に停め、8:30 裏磐梯ロープウェイで標高 1390m の山頂駅まで上がった。スキーのオフシーズンなので、駐車料は無料。ロープウェイの料金は往復でも片道でも 1800 円だったが、旅行支援のクーポン 1000 円分が使えたので、往復で 800 円。

08:45 山頂駅出発。展望は良く安達太良山まで見えた。09:20 リフトほぼ 1 本分スキー場内を登り、西大巔への分岐に到着。ここからは樹林の中の岩だらけの登山道に入る。西大巔まではほぼ直登、そして急登。途中からは冬山。気付けば足元は霜柱から雪に変わっていた。西大巔山頂からは磐梯山、猪苗代湖まで一望できるのだが、ガスが抜ける瞬間、時折視界が開けるだけだった。注意しなければならないのは、山頂から西吾妻山への登山道が稜線上でなく、登ってきた道を一旦下りてトラバースすること。植生の保護のためだろうか。

11:15 西吾妻小屋着。小屋で休憩中に菱田会員は天狗岩、吾妻神社を往復した。11:50 全員そろったところで小屋を出発し、15分ほどで西吾妻山山頂（標高 2035m）に到着した。日本百名山なのになだらかなその山頂からの展望は樹林に囲まれ全くない。



西吾妻小屋



西吾妻山山頂



西吾妻山

復路では雪の積もった木道、滑りやすい石、急斜面の粘土、泥濘との戦いだった。ガイドブックでは初心者向きとなっているが、下山で地味に苦しめられた。この時期、山麓は紅葉が見事で、山頂付近は霧氷と樹氷が見られ、素晴らしい山行になった。山頂駅に戻ると小さな子どもたちが、設置してあるトランポリンで楽しそうに遊んでいた。14:50 ゴンドラを降りて登山終了。

もう 1 泊していく渡邊支部長と高野会員、帰路に就く栃木組、2 台に分乗して、グランデコを後にした。栃木組は渋滞を回避して、矢板北スマートインターで高速を下り、19:10 無事、宇都宮に戻り、解散した。日本百名山 2 座をのんびり 2 日間で登る紅葉狩りの秋山山行の計画が、思いもよらず冬山登山のようになってしまったが、楽しい思い出になった。

(文責：猿山浩)